

津麦ニュース 令和2年産 第3報

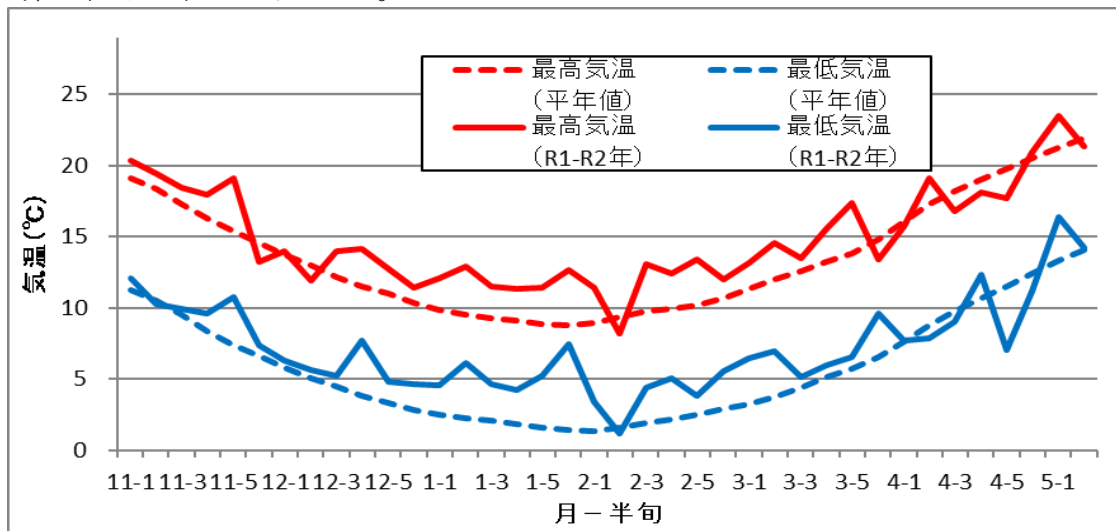
令和2年5月15日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

麦の生育はやや早め～平年並みに推移しています。
今後、適期作業で良質麦を確保しましょう。

< 気象経過 >

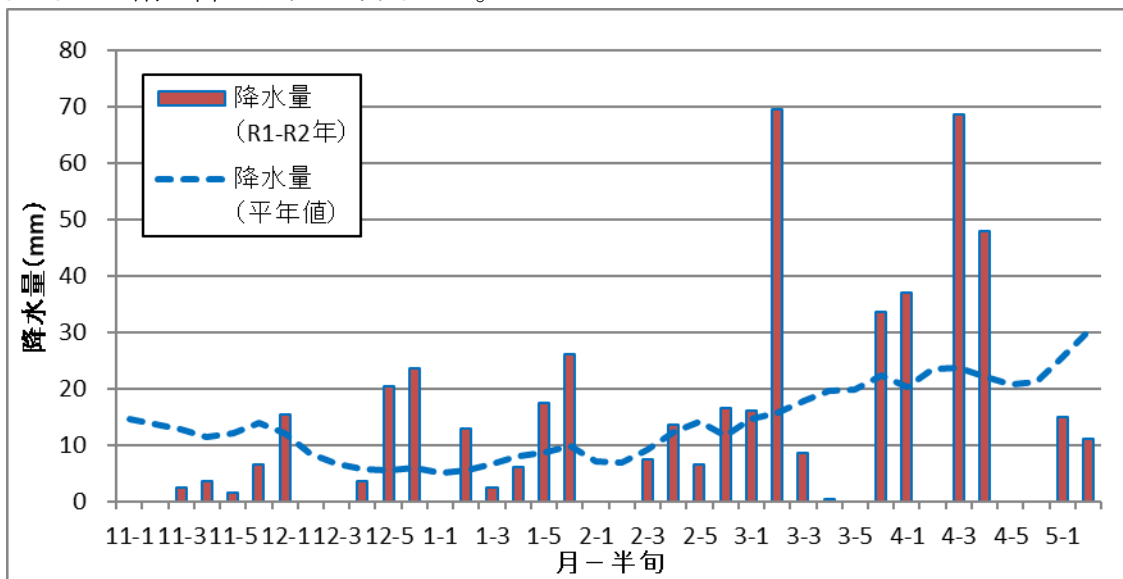
○気温

11月以降気温は高く推移していましたが、4月は全般に気温が低く推移し、特に4月第5半旬は冷え込みました。



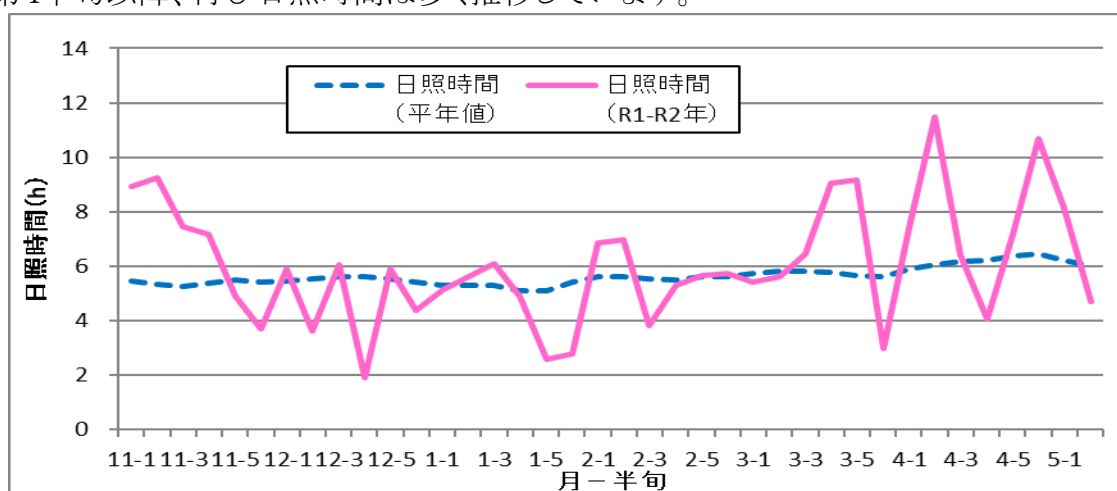
○降水量

11月から2月までは適度に降雨がありました。3月第2半旬、4月第3、第4半旬にまとまった雨が降った日がありました。



○日照時間

11月第4半旬までは平年より多く推移し、その後、やや少なめに推移しました。3月第4半旬以降、再び日照時間は多く推移しています。



<麦の状況>

○生育状況

暖冬の影響で生育は平年よりかなり早く進み、11月上旬播種の圃場では3月末までに出穂期を迎えました。11月中旬播種の圃場でも4月上旬に出穂期となりました。中旬には開花期を迎えました。しかし、4月に入り冷え込んだこと等から開花期が遅れ、11月上旬播種の圃場で4月中旬となりました。このため、生育の進みは、それほどなくなり、平年よりやや早い程度になってきています。4月第3半旬の風雨により、一部倒伏が見られていますが、大きな影響はないと思われます。

○病虫害発生状況

現在のところ、特に目立った病害や虫害は観察されていません。

<今後の対策>

○雑草対策(ネズミムギ(イタリアンライグラス)、カラスムギについて)

繁殖能力が強く、麦畑で広がりつつあります。圃場での発生が確認された場合には、発生量がわずかでも結実前に抜き取りましょう。また、作付け計画を見直し、一年休耕して耕起や非選択性除草剤で防除、常時湛水で種子の死滅を図る等の対策を行いましょう。

○適期収穫

麦の収穫適期のめやすは、**穀粒水分27～28%になった頃**です。

- ①雨にあたりと穂発芽の発生や、容積重が低下し、外観も悪化して品質が低下します。今後の天気を考慮し収穫を行いましょう。
- ②あやひかりは白穂品種で収穫時期が判別しにくいので、水分測定を行って刈り取り時期を判断しましょう。
- ③今年の麦の生育予測によると、あやひかりで概ね昨年並み(平年並み)、5月下旬～6月上旬には成熟期を迎えます。

収穫作業の準備は早めに行い、生育状況を注視して、適期作業に努めましょう。

○小麦の生育予測

令和2年5月10日現在

品種	播種日	出穂期の 予測日	開花期の 予測日	成熟期の 予測日
あやひかり	11月1日	4月3日	4月15日	5月29日
	11月10日	4月8日	4月22日	5月31日
	11月20日	4月14日	4月26日	6月4日
	11月30日	4月18日	4月30日	6月7日

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヵ年)を使用しました。